

クリーンパワーバスの殺菌力試験

目的

クリーンパワーバス存在下における生理食塩液中の微生物の経時的残存生菌数を測定、写真撮影することによってその抗菌活性の評価を行った。

試験委託者

江本工業株式会社 事業企画本部

試験菌

緑膿菌

Pseudomonas aeruginosa ATCC 27853

試験検体

クリーンパワーバス（江本工業）

方法

- 1.試験菌は羊血液寒天培地 M58（栄研化学）にて 35°C、18 時間培養後、滅菌生理食塩液に懸濁させた。
- 2.滅菌生理食塩液に緑膿菌を約 10⁶CFU/ml となるよう接種した。
- 3.菌を接種した滅菌生理食塩液 1L に対しクリーンパワーバス 1 個を添加した。
- 4.40°C に保温し、振盪条件下で 0、3、12 時間後に液中の生菌数を測定した。また、生菌数を計測した寒天平板の写真撮影を行った。対照としてクリーンパワーバスを添加しない条件で同様に行った。

クリーンパワーバスの殺菌力試験

結果

生菌数:CFU/ml

菌名		作用時間(hr)		
		0	3	12
緑膿菌 <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ATCC27853	クリーンパワーバス	1.4×10^6	$<2.0 \times 10^1$	$<2.0 \times 10^1$
	対照	1.8×10^6	2.1×10^5	2.0×10^4

Pseudomonas aeruginosa ATCC27853

